

経営比較分析表／団体全体（令和5年度決算）

石川県 金沢市

【事業概要】

業務名	業種名	現在配水能力(合計)(m ³ /日)	類似団体区分	施設数	1日平均配水量(m ³)
法適用	工業用水道事業	1,700	極小規模	1	661
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	給水先事業所数	契約水量(m ³ /日)	管理者の情報	
-	93.3	5	657	自治体職員 其他	

グラフ凡例

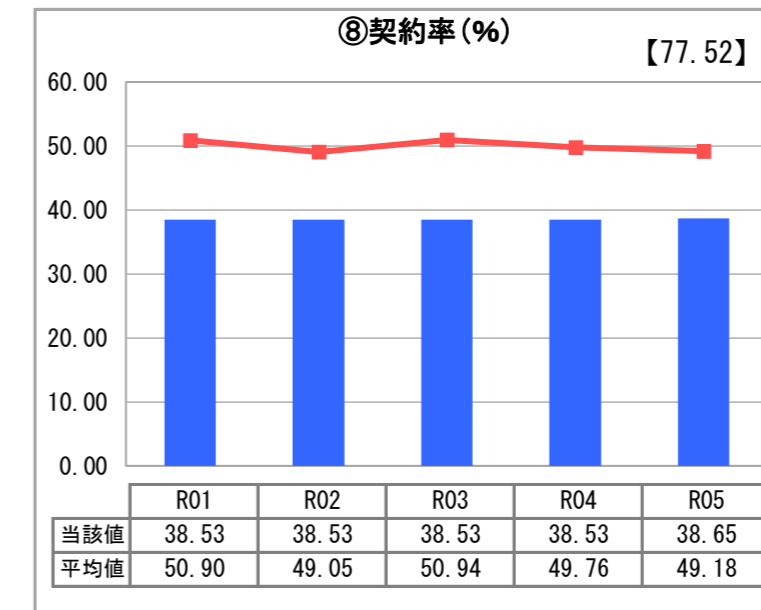
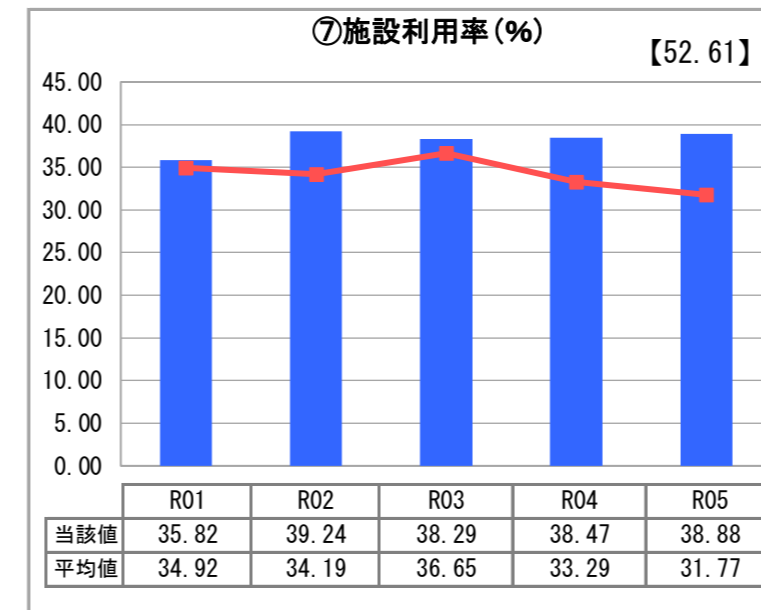
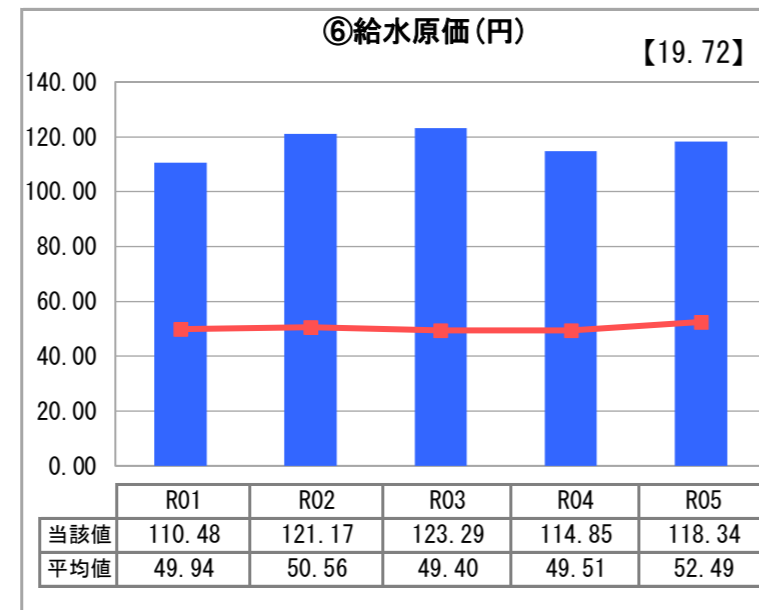
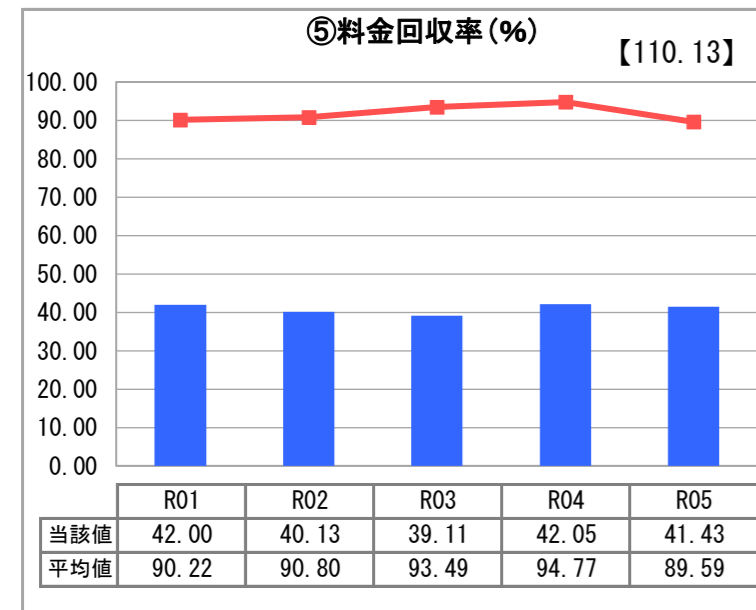
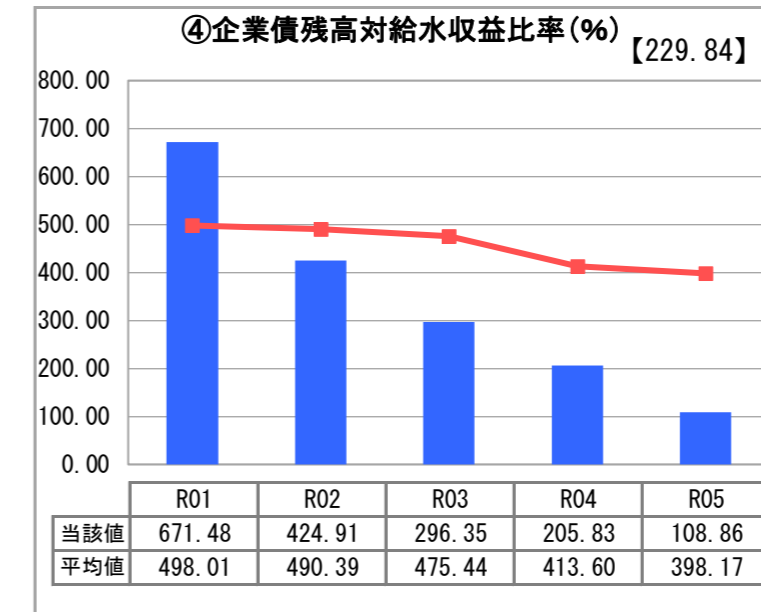
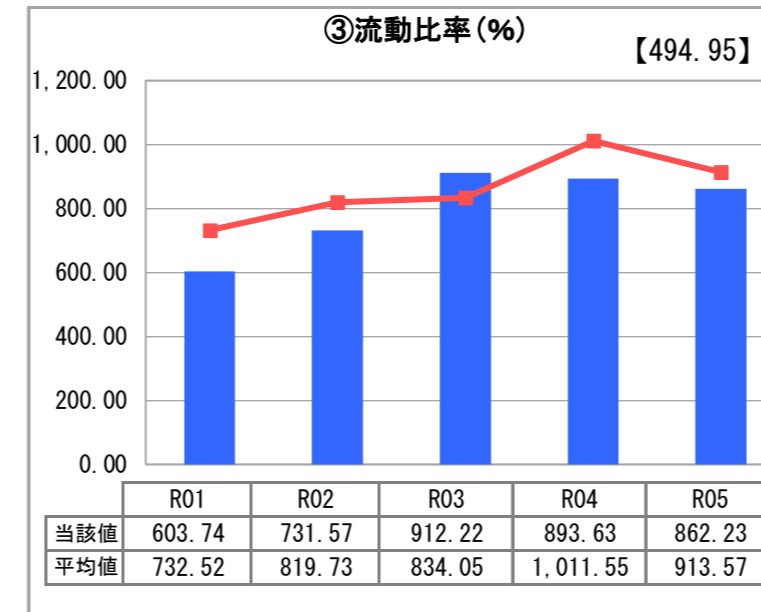
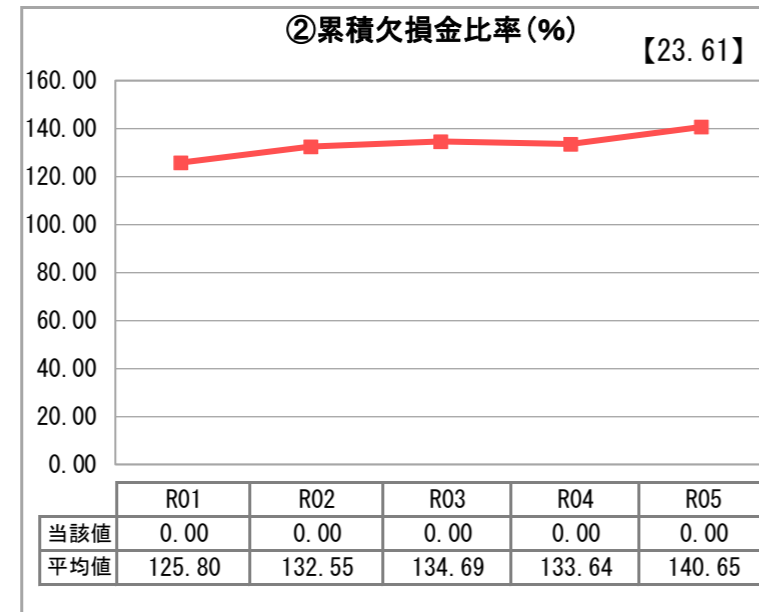
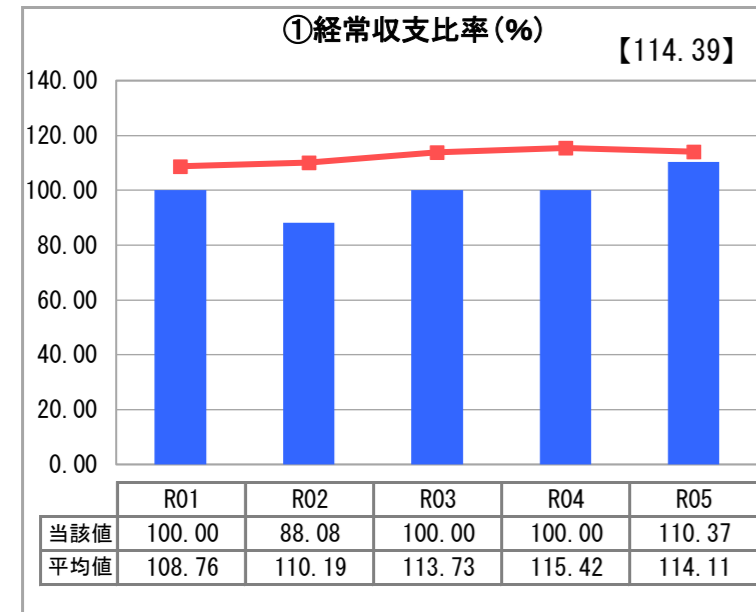
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

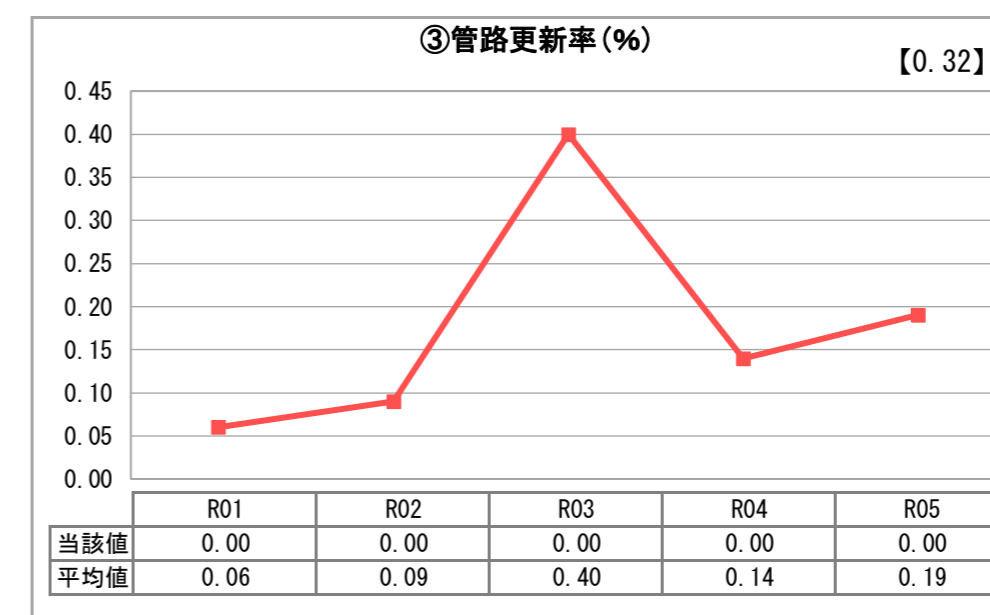
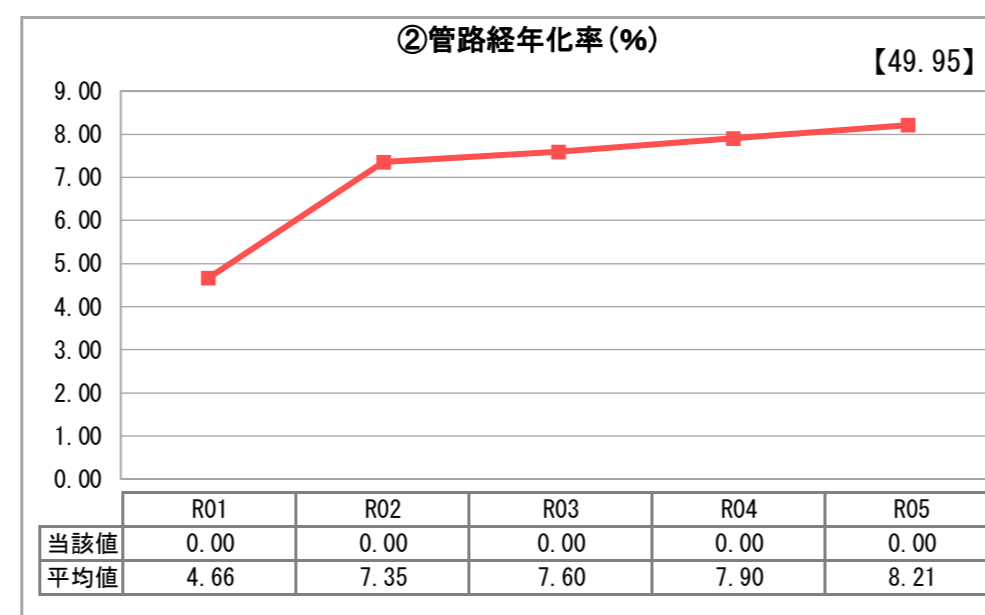
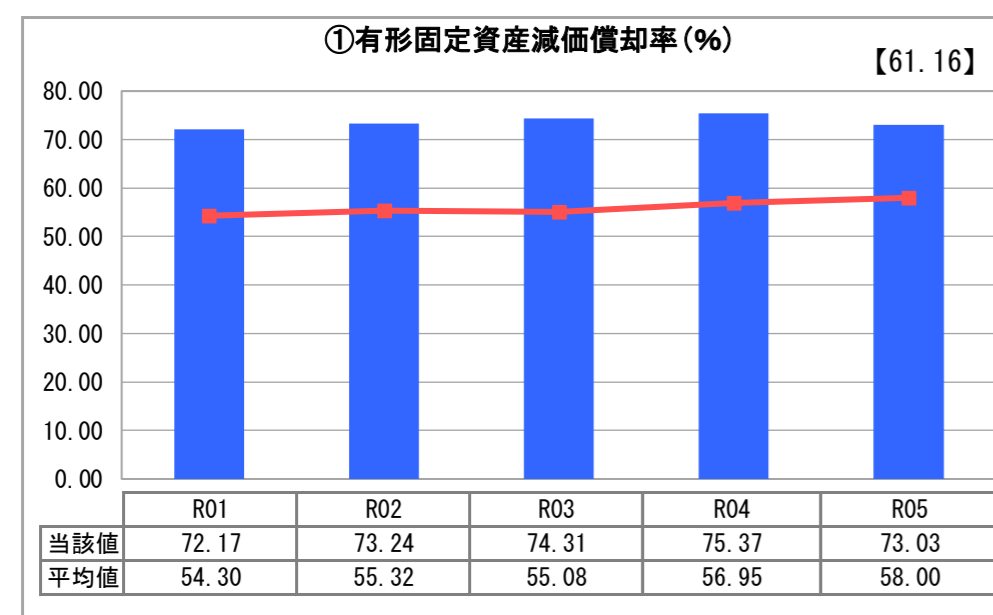
1. 経営の健全性・効率性について

「⑤料金回収率」は、約40%であるが、供給先の工業団地での「⑧契約率」が約40%、それに伴い「⑦施設利用率」も約40%であり、契約水量と供給能力に大きな乖離があることから、供給単価が給水原価を下回っている。
 「④企業債残高対給水収益比率」は、新たな借入をしていないことから着実に償還が進んでいる。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



2. 老朽化の状況について

給水開始が平成9年であり更新時期を迎えていないため、「②管路経年化率」及び「③管路更新率」は0%となっている。また、新たな投資は行っていないことから、「①有形固定資産減価償却率」は年々増加していたが、令和5年度は老朽化した設備機器を除却したことにより、前年度より減少している。

全体総括

工業用水道事業は、低廉な価格の工業用水道を企業に供給することにより地域産業の振興に寄与しているが、今後大幅な増収が期待出来ない状況にあることから、施設等の適切な維持管理を図るとともに、業務の効率化に努めていく。
 また、設備が順次、更新時期を迎えることから、より効率的な更新方法を検討していく。